



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 日本プリメックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2795 URL <https://www.primex.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)中川 善司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)真岡 厚史 (TEL) 03(3750)1234
 定時株主総会開催予定日 2022年6月27日 配当支払開始予定日 2022年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	5,876	13.3	472	50.6	644	68.3	416	74.2
2021年3月期	5,188	△21.9	313	△44.9	383	△33.1	239	△35.9
(注) 包括利益	2022年3月期 394百万円 (2.5%)		2021年3月期 385百万円 (64.4%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	79.15	—	6.6	7.7	8.0
2021年3月期	45.43	—	3.9	4.7	6.0
(参考) 持分法投資損益	2022年3月期 一百万円		2021年3月期 一百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	8,703	6,493	74.6	1,233.85
2021年3月期	8,135	6,204	76.3	1,178.87
(参考) 自己資本	2022年3月期 6,493百万円		2021年3月期 6,204百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	256	298	△142	2,447
2021年3月期	293	505	△146	1,962

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2021年3月期	—	0 00	—	20 00	20 00	105	44.0	1.7
2022年3月期	—	0 00	—	20 00	20 00	105	25.3	1.6
2023年3月期(予想)	—	—	—	20 00	20 00			

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	0.4	492	4.1	525	△18.6	357	△14.3	67.83

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 有
- ② ①以外の会計方針の変更: 無
- ③ 会計上の見積りの変更: 無
- ④ 修正再表示: 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	5,523,592 株	2021年3月期	5,523,592 株
② 期末自己株式数	2022年3月期	260,802 株	2021年3月期	260,802 株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	5,262,790 株	2021年3月期	5,262,790 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	5,867	13.3	417	54.7	607	70.5	403	80.5
2021年3月期	5,177	△22.0	269	△48.2	356	△34.3	223	△37.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	76.69	—
2021年3月期	42.48	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年3月期	8,304		6,264		75.4	1,190.24		
2021年3月期	7,735		5,987		77.4	1,137.73		

(参考) 自己資本 2022年3月期 6,264百万円 2021年3月期 5,987百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信（添付資料）「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症は感染第3波のピークアウトに始まり回復の兆しが見えたものの、その後の第4、第5、第6波と相次いで周期的な感染拡大に見舞われましたが、コロナワクチンの接種率向上やマスク着用の日常化などの感染対策の普及により前年度に比較して徐々に経済活動は活性化してまいりました。

一方、海外では3月のロシアによるウクライナ侵攻により、原油や穀物など関連するコモディティ価格の高騰や円安による物価上昇や安全保障などの様々な局面に影響を与えうる要因が発生するなど、多難な1年となりました。

当社ではニューノーマルな時代に対応すべくガソリンスタンド用精算機、ATM、自動販売機といった非接触機器向け及び医療機器向けの需要獲得を目指して活動して参りました。国内につきましては商品の供給不足はあったものの従来からの訪問営業の他、ICTによるオンライン商談などにより顧客対応を強化し、コロナ前の受注水準に概ね回復しており、海外につきましても、北米ガソリンスタンド向け等の当社製ミニプリンタの出荷が堅調に推移したことにより、

売上高は、58億76百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

営業利益は、4億72百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

経常利益は、6億44百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、4億16百万円（前年同期比74.2%増）となりました。なお、商品群別業績では、次のとおりであります。

当連結会計年度における商品群別売上は、

ミニプリンタメカニズムが1億54百万円（前年同期比12.9%増）。

ケース入りミニプリンタの売上高は32億60百万円（前年同期比15.3%増）。

ミニプリンタ関連商品は8億86百万円（前年同期比30.2%増）。

消耗品は4億40百万円（前年同期比9.3%増）。

大型プリンタは1億16百万円（前年同期比4.2%増）。

その他は10億19百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し、66億27百万円となりました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が2億61百万円増加、原材料及び貯蔵品が1億25百万円増加、したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、20億75百万円となりました。これは、主として投資有価証券が49百万円増加したことによりです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%増加し、87億3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.6%増加し、17億90百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金が1億46百万円の増加、未払法人税等が1億17百万円の増加となっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、4億19百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて14.4%増加し、22億9百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、64億93百万円となりました。主な要因は利益剰余金3億11百万円の増加及びその他有価証券評価差額金21百万円の減少であります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて54円98銭増加し、1,233円85銭となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.3%から74.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、(以下「資金」という。)前連結会計年度に比べ4億85百万円増加し24億47百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によって獲得した資金は、2億56百万円(前年同期2億93百万円)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益の計上6億44百万円、減価償却費92百万円、仕入債務の増加1億46百万円のインフローに対し、為替差益1億45百万円、売上債権の増加2億61百万円、棚卸資産の増加1億40百万円のアウトフローとなったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によって得られた資金は、2億98百万円(前年同期5億5百万円)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入33億36百万円に対して、定期預金の預入による支出29億6百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により支出した資金は1億42百万円(前年同期1億46百万円)であり、これは主に配当金の支払1億5百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

①次期(2023年3月期)の連結業績見通しについて

次期(2023年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高59億円、営業利益4億92百万円、経常利益5億25百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億57百万円を見込んでおります。

尚、当社は、当連結会計年度末において、米ドル建ての現金、預金を約865万ドル保有しており、期末時点の為替レートは1ドル122円39銭となっております。

次期の連結業績見通しは、保有外貨の期末時価評価により生ずる為替差損益については加味しておりません。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当する事項は、ございません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、外国人持株比率が非常に低いことから日本基準に基づき連結財務諸表を作成しています。今後については、外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用や米国会計基準の適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,296,215	4,424,518
受取手形及び売掛金	1,301,717	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	1,563,702
商品及び製品	321,193	330,094
仕掛品	-	6,325
原材料及び貯蔵品	166,740	292,095
その他	14,687	11,125
貸倒引当金	△1,302	△312
流動資産合計	6,099,252	6,627,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	219,485	211,429
機械装置及び運搬具(純額)	9,807	8,799
工具、器具及び備品(純額)	28,290	38,434
土地	956,574	963,918
リース資産(純額)	105,931	106,075
有形固定資産合計	1,320,089	1,328,658
無形固定資産		
その他	25,455	21,690
無形固定資産合計	25,455	21,690
投資その他の資産		
投資有価証券	563,632	613,112
繰延税金資産	113,707	95,234
その他	19,536	22,515
貸倒引当金	△5,746	△5,705
投資その他の資産合計	691,129	725,157
固定資産合計	2,036,675	2,075,505
資産合計	8,135,927	8,703,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,291,208	1,437,607
未払法人税等	41,454	159,028
賞与引当金	47,912	47,443
その他	115,907	146,259
流動負債合計	1,496,482	1,790,339
固定負債		
役員退職慰労引当金	175,319	172,759
退職給付に係る負債	229,957	208,863
その他	30,002	37,597
固定負債合計	435,278	419,220
負債合計	1,931,761	2,209,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	5,679,578	5,990,852
自己株式	△158,900	△158,900
株主資本合計	6,197,771	6,509,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,394	△15,551
その他の包括利益累計額合計	6,394	△15,551
純資産合計	6,204,165	6,493,494
負債純資産合計	8,135,927	8,703,054

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	5,188,021	5,876,945
売上原価	3,778,112	4,267,287
売上総利益	1,409,909	1,609,658
販売費及び一般管理費	1,096,201	1,137,087
営業利益	313,708	472,571
営業外収益		
受取利息	1,579	500
受取配当金	21,144	23,947
受取賃貸料	290	162
為替差益	45,435	143,464
その他	3,313	6,393
営業外収益合計	71,764	174,468
営業外費用		
支払利息	1,960	1,984
その他	302	59
営業外費用合計	2,262	2,044
経常利益	383,209	644,995
特別損失		
減損損失	14,760	-
固定資産除却損	26	155
特別損失合計	14,786	155
税金等調整前当期純利益	368,423	644,840
法人税、住民税及び事業税	124,732	207,358
法人税等調整額	4,595	20,952
法人税等合計	129,327	228,310
当期純利益	239,095	416,529
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	239,095	416,529

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	239,095	416,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,980	△21,945
その他の包括利益合計	145,980	△21,945
包括利益	385,076	394,584
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	385,076	394,584
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	393,997	283,095	5,545,738	△158,900	6,063,931
当期変動額					
剰余金の配当			△105,255		△105,255
親会社株主に帰属する当期純利益			239,095		239,095
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	133,839	-	133,839
当期末残高	393,997	283,095	5,679,578	△158,900	6,197,771

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△139,586	△139,586	5,924,345
当期変動額			
剰余金の配当			△105,255
親会社株主に帰属する当期純利益			239,095
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	145,980	145,980	145,980
当期変動額合計	145,980	145,980	279,820
当期末残高	6,394	6,394	6,204,165

当連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	393,997	283,095	5,679,578	△158,900	6,197,771
当期変動額					
剰余金の配当			△105,255		△105,255
親会社株主に帰属する当期純利益			416,529		416,529
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	311,273	-	311,273
当期末残高	393,997	283,095	5,990,852	△158,900	6,509,045

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	6,394	6,394	6,204,165
当期変動額			
剰余金の配当			△105,255
親会社株主に帰属する当期純利益			416,529
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21,945	△21,945	△21,945
当期変動額合計	△21,945	△21,945	289,328
当期末残高	△15,551	△15,551	6,493,494

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	368,423	644,840
減価償却費	84,763	92,093
減損損失	14,760	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,876	△21,093
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,452	△2,560
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,076	△468
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△520	△1,031
受取利息及び受取配当金	△22,723	△24,448
為替差損益 (△は益)	△45,179	△145,892
売上債権の増減額 (△は増加)	223,234	△261,985
棚卸資産の増減額 (△は増加)	34,628	△140,580
仕入債務の増減額 (△は減少)	△194,766	146,398
前受金の増減額 (△は減少)	815	30,522
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△12,428	7,116
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,676	△10,794
その他	1,888	19,048
小計	445,563	331,164
利息及び配当金の受取額	25,639	24,434
利息の支払額	△1,960	△1,984
法人税等の支払額	△175,641	△97,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,600	256,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,371,754	△2,906,347
定期預金の払戻による収入	3,968,467	3,336,179
有形固定資産の取得による支出	△13,592	△42,215
投資有価証券の取得による支出	△60,225	△76,118
その他	△17,490	△13,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	505,404	298,378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△105,262	△105,476
その他	△40,923	△37,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,186	△142,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,101	72,767
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	685,921	485,009
現金及び現金同等物の期首残高	1,276,406	1,962,328
現金及び現金同等物の期末残高	1,962,328	2,447,336

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、一部の取引については従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識するようにしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高及び売上原価が53,547千円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「ミニプリンタの開発・製造・販売事業」のみであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他	計
4,617,796	312,348	184,452	23,546	49,879	5,188,021

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他	計
5,196,381	342,261	289,388	5,372	43,544	5,876,945

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループの報告セグメントは「ミニプリンタの開発・製造・販売事業」のみであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	1,178円87銭	1,233円85銭
1株当たり当期純利益	45円43銭	79円15銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	239,095	416,529
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	239,095	416,529
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,262	5,262

(重要な後発事象)

該当事項はありません。